

戦争をゆるさない東京キリスト者の会

第3回総会 記念講演会

「壊憲」状況と 戦争法案を撃つ



小林 節さん (慶應義塾大学名誉教授)

昨年9月に成立した安保関連法。識者たちによる違憲見解、また多くの民意を無視しての暴挙でした。これにより日本国憲法は破壊され、無残にも踏みこじられました。現在、戦争の足音がひたひたと近づいています。

2015年6月の衆院憲法審査会にて集团的自衛権の行使容認は「違憲」だと見解を表明し、2016年5月に「国民怒りの声」を結成した講師のお話を通じて、安保関連法は「戦争法案」であると確認し、厳しい現状に抵抗し、この事態を変革していくあり方を共に考えます。

■小林 節 (こばやし せつ)

慶應義塾大学名誉教授、弁護士、法学博士、名誉博士 (モンゴル、オトウゴンテンゲル大)。1949年東京都生まれ。1977年慶応大学院法学研究科博士課程修了。ハーバード大学ロー・スクール客員研究員等を経て、1989年～2014年慶大教授。その間、北京大学招聘教授、ハーバード大学ケネディ・スクール・オブ・ガヴァメント研究員等を兼務。2014年より慶大名誉教授。著書に『憲法』改正と改悪 (時事通信社)、『憲法改正の覚悟はあるか』 (KKベストセラーズ) 他。

日 時：6月21日 (火)

18:30～20:00 (開場 17:45)

※引き続き、総会 20:00～20:30

会 場：日本キリスト教会館6階

(新宿区西早稲田 2-3-18 6F)

参加費：500円

◇主催

戦争をゆるさない東京キリスト者の会

◇共催

日本クリスチャンアカデミー

関東活動センター

◇問い合わせ先

〒272-0021 市川市八幡 6-12-4 (池田)

TEL：047-334-2835

e-mail：yurukiritokyo@yahoo.co.jp

☆当日の連絡先 古賀 (TEL：090-8248-4242)

